

A. 単元案の概要

テーマ
ホストファミリーに紹介したいことを話してみよう
目標
学習レベル 2
○ フランスに行った時に、ホストファミリーや交流するフランス人に紹介したい日本の生活習慣・文化について（アルバイト、学生生活、食、大学紹介、折り紙、お土産など）について、クラスメートの前で発表する。
○ 紹介したい日本の生活習慣・文化について簡単なパンフレットを作成することができる。
○（継続活動）実際に、フランスに行った時に、ホストファミリーや交流するフランス人に発表したことを話してみる。
コミュニケーション能力指標
グループによってトピックは異なるが、主に以下の能力指標のどれかが当てはまる。
学校生活 2-b 学校の簡単な概要を説明した、簡単な資料を作ることができる。
日常生活 2-b 1日、1週間単位の予定や報告を、簡単に、口頭または書いて伝え合うことができる。
食 2-g 自分の食生活について、高等で説明できる。
食 2-i 料理の大まかな作り方を、身ぶりを交えたり、絵に描いたりして、口頭で説明しあうことができる。
趣味と遊び 2-e 休みの日によくすることについて、感想を交えて会話できる。
趣味と遊び 2-f 好きなものや趣味が何か、口頭でまたは書いてやりとりできる。
人とのつきあい 2-f 誰にどんなプレゼントを贈るか、どんなものを誰からもらったことがあるか、感想を含めて、言ったり尋ねたりできる。
ことば 2-c 学んでいる言語や日本語等のなかで好きなことばは何か、言ったり尋ねたりできる。
学習シナリオ
プラン作成者の大学では、1年次終了時に多くの学生がフランスで行われる1ヶ月間の短期語学研修に参加する。その滞在中、学生たちは、日本の代表として、ホームステイ先のホストファミリーや現地で交流するフランス人に、日本について紹介することになる。そこで、短期語学研修に出発する前に行われる事前授業を利用して、自分たちで紹介したい日本の生活習慣・文化に関して口頭で表現できるような学習活動を行うことにした。また、プレゼンテーションを容易にするために、同時に紹介することがらに関するパンフレットも作成することにした。

- グループ作りとテーマ選び
 - 3~5名のグループを作成し、フランス滞在中に出会ったフランス人に紹介したい日本の生活習慣・文化に関するテーマを決定する。
- ブレインストーミング
 - 選択したテーマを紹介するためのパンフレット（A4 二枚程度）の内容について、グループで話しあい、付箋などを使いながら、素案を作成する。
- パンフレットの作成
 - 作成した素案に沿って、パンフレット内に使う写真やイラストを用意し、そこにフランス語で説明を加える。
 - パンフレットを完成させる。
- プレゼンテーションの台詞の作成
 - パンフレットの内容を紹介するための台詞を考える。
 - セリフを言えるように練習する。
- プレゼンテーション
 - 作成したパンフレットをプロジェクターで投影しながら、グループごとに発表する。その際に、グループ全員が必ず発表することを条件とする。
 - プレゼンテーション後に簡単な質疑応答を行う。
 - プレゼンテーションを生徒間で相互評価を行う。

総括的評価

- 発表用の資料として作成するパンフレットの出来栄を評価する。
- 最終的なプレゼンテーションをルーブリックに沿って評価する。
- 生徒間での相互評価を行い、その結果を参考とする。

B. 3×3+3分析

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの紹介したいこと(アルバイト、学生生活、食、大学紹介、折り紙、お土産など)について話したり聞いたりするのに必要な語彙・表現がわかる。 紹介したいことを表現する中で、フランス語と日本語の違いに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの紹介したいこと(アルバイト、学生生活、食、大学紹介、折り紙、お土産など)がフランスではどうなっているのか想像してみる。 そして、そのテーマについてフランス滞在経験のある教師にきいて、フランスの事情を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> フランスでは自分が日本社会の代表となることを意識し、日本のことについてフランス人に話すということを知覚する。
できる	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの紹介したいこと(アルバイト、学生生活、食、大学紹介、折り紙、お土産など)について、友達に紹介できる。 フランス語でできるだけ流暢に話そうと努力できる。 プレゼンテーションの中で、フィーラー(エーウー…)や身振り手振りをうまく使い、話のリズムを作ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの紹介したいこと(アルバイト、学生生活、食、大学紹介、折り紙、お土産など)がフランスではどうなっているのか比較、分析してみる。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真やイラストなど視覚的な資料と、プレゼンテーションの内容を関連付けることができる。 情報の収集・編集・発信のためにICTを活用できる。
つながる	<ul style="list-style-type: none"> フランス人に話すことを想像する。 (フランスに行ったときに、実際にプレゼンテーションしたことを話してみる。) 	<ul style="list-style-type: none"> (フランスに行ったときに、実際に自分の紹介したいことをフランス人に話してみ、日本の生活習慣・文化についてどう思うか?フランスではどのようなか?話し合ってみる。) 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちのグループで紹介した内容だけでなく、他のグループの紹介した内容についても共有する。 (フランスに行った時に、自分のグループだけでなく、他のグループの紹介したものについても紹介して、能力・知識の吸収に努める。)
三連携	連携1：学生がフランス人に紹介したいものを発信するため、学生たちの関心事を生かした活動 連携2：週6回のフランス語の文法・会話の授業などで既習した内容 連携3：フランスで滞在するホームステイ先のホストファミリー、現地で交流するフランス人		

C.目標の要素分解

個々のタスク	小目標	中目標	大目標
紹介する分野の語彙を調べ、暗記し発音できる。 (語彙は選択したテーマによって異なる:ex. petit boulot, resto U, souvenir, plier etc...)	フランス人に紹介したい日本の生活習慣・文化についての語彙を理解し、産出できる。	フランス人に紹介したい日本の生活習慣・文化について(アルバイト、学生生活、食、大学紹介、折り紙、お土産など)について、フランス語で紹介できる。	ホストファミリーや交流するフランス人に紹介したい日本の生活習慣・文化について(アルバイト、学生生活、食、大学紹介、折り紙、お土産など)について、パンフレットを作成し、クラスメートの前で発表する。
物や物事を形容する表現(形容詞)を調べ、暗記し、発音できる (ex. important, joli, beau, bon, nouveau, vieux, etc.)			
具体的に、何かを提示し、紹介するための表現を理解し、産出できる。 (ex. C'est ~, vous avez ~, voilà etc.)	フランス人に紹介したい日本の生活習慣・文化についての表現を理解し、産出できる。		
何かを説明するための表現を理解し、産出できる。 (ex. pour ~, ça veut dire, cela signifie, etc)			
適切な写真やイラストを選択することができる。	写真やイラストを、上手に配置し、デザインすることができる。		
図やイラストを説明するフランス語の語彙・表現を調べ、書くことができる。(語彙は選択したテーマによって異なる:ex. petit boulot, resto U, souvenir, plier etc...)	図やイラストに適したフランス語のコメントを書くことができる。	紹介する事柄について、写真やイラストを活用し、そこにフランス語のコメントで簡単に説明することができる。	

D. 指示文

テーマ：ホストファミリーに紹介したいことを話してみよう

指示文：

ホームステイ先のホストファミリーや、現地で交流するフランス人に、日本の文化（必ずしも高尚なものでもなく）・生活習慣をフランス語で伝えましょう。グループでパンフレットを作成し、プレゼンテーションをすることで、みんなでフランス語話者と話すネタを共有しましょう。

活動：

①10月22日

基本4名でグループを作成してください。3名～5名も可。

グループで、フランス人に紹介したい生活習慣・文化の中で、テーマを設定してください。

テーマ選びのポイント

- ・自分たち目線で、身近なことをテーマにして、作成する。
- ・あまり大きなトピックにせず、絞った方が作成しやすい。
- ・学術的だったり、難しすぎるテーマを選択すると、後でフランス語で表現できなくなるし、フランス人に質問しても答えがわからなくなるので注意。
- ・自分たちの表現できるフランス語で説明するというのを頭に入れて、テーマを決める。

②11月19日

グループで話しあい、選んだテーマについて、パンフレット（A3サイズ横1枚）のラフなイメージを作成する。どういう写真やイラストを掲載するか、どういうコメントを入れるかなど。

また、1月のプレゼンテーションに向けて、どういう台詞を言うかも大まかに考える。

⚠台詞を考える際には、自分たちのフランス語力で表現できそうかを考えること。

③12月17日

グループで、選んだテーマについて、写真やイラストを入れたパンフレット（A3サイズ横1枚位）を作成する。できれば、この時間に完成させる。 [12月19日]（締切予定）

③1月14日（予定）

グループで作成したパンフレット（カメラで投影）をもとにフランス語でプレゼンテーションする。

⚠必ず、グループ全員がフランス語で何かを表現すること（1、2人に任せたりしないこと）。
そして、できるだけ台詞を覚えること。

④出発前までに

作成したパンフレットをもとに冊子にする。

⑤滞在中

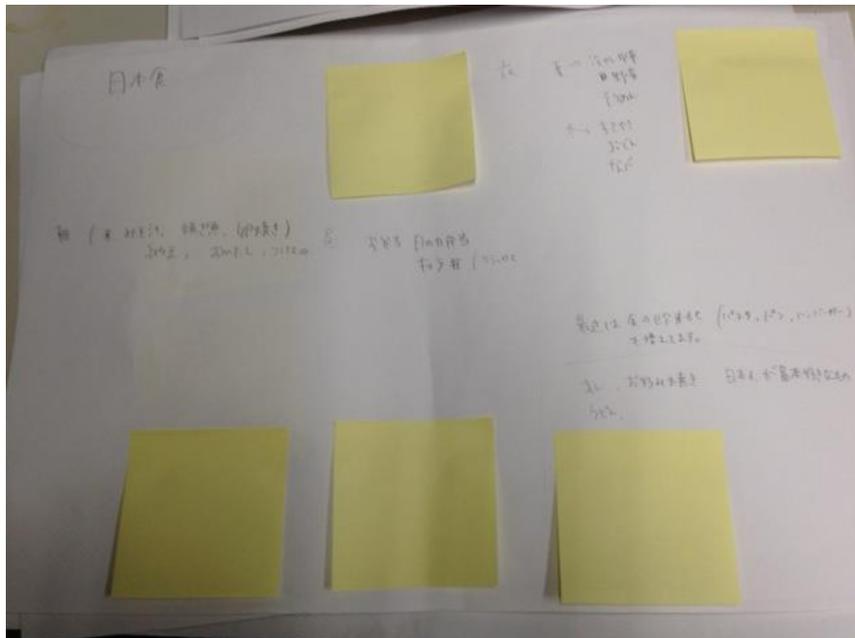
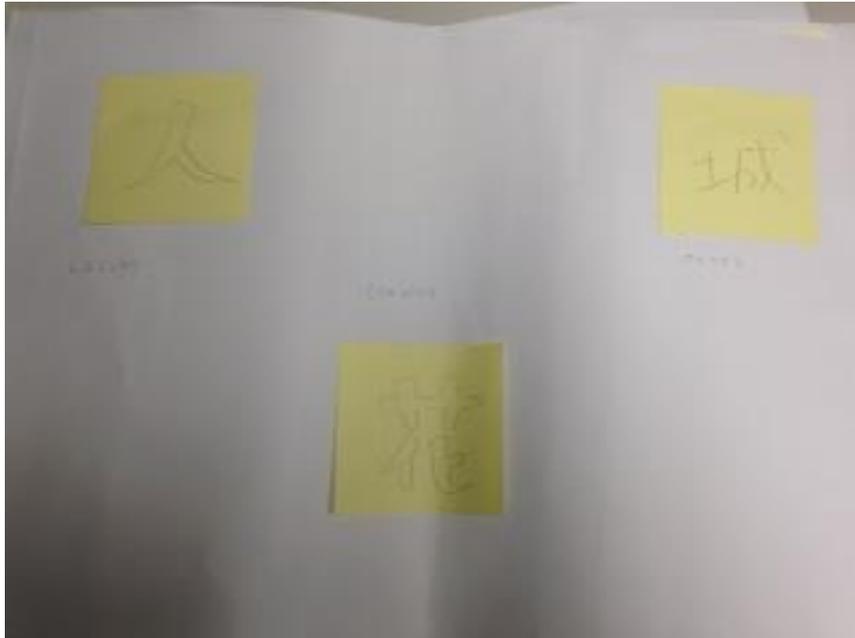
冊子を見せながら、ホストファミリーや現地のフランス人に日本の生活習慣・文化について紹介してみよう。どのような反応か？そして、フランスではどうか聞いてみよう。

E. 評価ルーブリック

評価基準	目標以上に達成 (4点)	目標を達成 (3点)	目標達成まであと 少し! (2点)	目標達成まで努力 が必要 (1点)
フランス語の 表現	豊富な語彙・多様な 文法・表現を適切に 使っている。	必要な語彙・文法・ 表現をおおむね正 しく使っている。	時々語彙や文法・表 現の間違が見ら れる。	語彙や文法・表現の 間違いが多く、意味 を伝えるのに苦労 している。
プレゼンテー ション	グループ全員が原 稿を見ずに正しい 発音で話すことが でき、スピーチ態度 (アイコンタクト、 声の大きさ、明瞭 性)が優れている。	グループ全員が原 稿を見ずに、正しい 発音で、話すことが できる。	グループのうち一 人を除いて原稿を 見ずに、正しい発音 で、話すことができ る。	グループのうち二 人以上が原稿を見 ずに、正しい発音 で、話すことができ る。
内容の魅力度	パンフレットとプ レゼンともに紹介 したい日本の生活 習慣・文化が明確に 説明できており、日 本への魅力を伝え られている。	パンフレットとプ レゼンともに紹介 したい日本の生活 習慣・文化が明確に 説明できている。	パンフレットとプ レゼンのどちらか が、紹介したい日本 の生活習慣・文化が 明確に説明できて いない。	パンフレットとプ レゼンの両方とも、 紹介したい日本の 生活習慣・文化が明 確に説明できてい ない。
パンフレット のデザイン (×1/2)	必要な情報(写真や イラスト、説明)が 入っており、工夫が 見られる。	必要な情報(写真や イラスト、説明)が 入っている。	必要な情報(写真や イラスト、説明)が 欠けている。	

F. 証拠としての成果物

現段階は、付箋を使ったブレインストーミング
内容について、考察するように指示している。



G. 学習者の個人的特性に対する対応

学習者の個人特性

- ほとんどの学生が語学留学は始めて。
- フランス語だけの環境で生活できるのか不安。
- 週6回のフランス語の授業でみっちり鍛えられている。
- プロジェクトのような自由な活動は普段やっていない。
- おそらく、自由な活動に興味はある。
- 意欲はあるけど、授業外の時間はあまりこの活動に費やしたくない。
- 人前でフランス語をあまり話したことがない。

その対応

- グループ活動にして、計画から実施まで友達と協力してもらい、各人にかかる負担を減らした。
- 発表は全員にして、各自が責任を持つように設定した。
- 普段、文法などは授業で扱っているので、内容重視にし、興味を持つようにした。
- 短期留学する場面を想像してもらい、この活動をしっかりやると、現地で有益であることを強調した。